

みんなでつくる園の未来!

# 保育ナビ

2026  
MAY  
<2/12>

5

特集

気候変動で保育はどう変わる?

酷暑の日の

保育実践・保育環境

園の未来を握る  
リスペクト型マネジメント  
少子化をチャンスに変える!  
多機能化と地域共創  
遊びを通して  
人と町を豊かにする(前編)

保育環境  
今こそ、汚れを気にせず  
思い切り遊ぼう!  
～「しゅらみい」でワクワクする保育へ  
アート活動

園長先生のための若手理解講座  
ベテラン世代と  
若手世代のすれ違い

2026年度は、「子どもというワクワクが広がる！園がまちの『未来』になる」  
をコンセプトに、内容をお届けします。

## 『保育ナビ』の使い方

### 読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



### 語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



### 保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



### 【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。

マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

右の二次元コードからアクセスするか「保育ナビ」で検索してください。



保育ナビ

※ダウンロード期限は、2027年3月31日までです。

『保育ナビ』は、  
編集委員が  
サポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）  
浅井幸子（東京大学）  
大方美香（大阪総合保育大学）  
大豆生田啓友（玉川大学）  
北野幸子（神戸大学大学院）  
古賀松香（京都教育大学）  
境愛一郎（共立女子大学）  
汐見稔幸（東京大学名誉教授）  
砂上史子（千葉大学）  
松井剛太（香川大学）  
無藤隆（白梅学園大学名誉教授）  
矢藤誠慈郎（保育のデザイン研究所）  
敬称略 50音順

★編集委員から読者の皆さんへの  
メッセージを月替わりで配信します。  
詳しくはP.32へ！

『保育ナビ』が  
伝えたいこと

### 変えられないものと 変えられるものを考える

新年度、保育で忙しい日々の中で少し気が早いですが、今年も6月ごろから大きな課題になることを想定して、「酷暑の日の保育実践・保育環境」を考える特集をお届けします。天候や子どもの個性など、人の力では変えられないことがありますが、環境構成やかかわり方など保育者の工夫で変えられることもあります。今月の特集や連載から、皆さんの園で変えられることを見つけてみませんか？

——『保育ナビ』編集部

## 巻頭

フレーベルのことば 汐見稔幸 小西貴士

## 特集

主 気候変動で保育はどう変わる？

酷暑の日の  
保育実践・保育環境 …4

汐見稔幸



## 注目テーマ

子どもと日常の保育の見方が変わる  
事例から学ぶ

インクルーシブな保育 …18

若月芳浩

ここに注目！

「保育の質」を捉え直すための  
12のキーワード …24

秋田喜代美

学び合いが広がる！

園と小学校の交流実践 …26

無藤 隆

リ 試してみたら、これは便利！

保育ICT活用術 …28

大豆生田啓友

園の未来を握るリスペクト型マネジメント

少子化をチャンスに変える！

多機能化と地域共創 …30

大豆生田啓友

編集委員に聞く

保育、ここがおもしろい！ …32

大豆生田啓友

## 保育内容

主 保育環境 今こそ、汚れを気にせず  
思い切り遊ぼう！

～「しゅらみい」でワクワクする保育へ…34

磯部錦司

園 3・4・5歳児

遊びが育つ保育

一思考力に焦点を当てて…36

田代幸代

0・1・2歳児

保育者のセンス・オブ・ワンダー

～子どものみかた～…38

井桁容子

やってみよう！

子どもの姿ベースの指導計画 …40

大豆生田啓友 佐伯絵美

リ エコロジカルな園庭へ

再生のための実践ゼミ …44

小西貴士 ポール・スミザー

ルーティン業務から脱却！

保育の“あたりまえ”見直し術 …48

浅井拓久也

Information …49

## 人材育成

園 園長先生のための若手理解講座 …50

和田美香

主 園のミドルリーダー育成講座 …54

杉村基樹

## 国の動き

国の動きを読む！

研究者の目2026 …56

大方美香

## 園経営

園 経営コンサルタントが提案する  
変化する時代の経営戦略 …58

桑戸真二 柳 修二

リ チャレンジの前の法律講座 …60

木元有香

## エッセイ

保育ナビエッセイ

わたしの子ども時代 …62

西 隆太郎

4



気候変動で保育はどう変わる?



3

# 酷暑の日の 保育実践 保育環境

1



監修／汐見稔幸（東京大学名誉教授）

イラスト／佐藤春菜 取材協力／こんぺいとぷらねっと

気温や気象パターンの長期的な変化により、大雨や台風、猛暑など、私たちの生活に大きな影響が出ています。その影響は保育にも及び、具体的な対策や保育の見直しが必須の状況です。そこで、本特集では「暑さ」に焦点を当て、暑さに負けない保育の工夫についてご紹介します。

## Contents

- 巻頭言 気候変動の中で子どもの育ちを守るために ..... P.5
- 事例 こうして暑さを乗り切る ..... P.7
  1. 社会福祉法人城崎こども園
  2. 社会福祉法人ベテスタ奉仕女母の家 茂呂塾保育園
  3. 学校法人信愛学園 越生みどり幼稚園
  4. 社会福祉法人あおぞら福祉会 あおぞらこども園
- おさえておきたい！ 熱中症対策のキホン ..... P.14
- 保育現場の暑さ対策 ..... P.16

2



時代に合った夏の保育、  
園庭のあり方を再考



汐見稔幸 (東京大学名誉教授)  
(しおみ としゆき) / 白梅学園大学名誉学長。専門は教育学、教育人間学、育児学。臨床育児・保育研究会等、現場の保育者を中心とした研究会を複数主宰。

気候変動の中で  
子どもの育ちを守るために

ユニセフが警告する  
子どもたちの未来

21世紀になる前後の頃は、気候の面でこれほど大変な時代になるとはあまり予測されていませんでした。しかし、実際に21世紀が幕を開けてみると、温暖化が進み、様々な異常気象が起っています。実はユニセフ(国連児童基金)が2024年に、「世界子供白書2024…2050年の子どもたち」を発表しています。2050年には子どもたちがどうなっているかを予測した報告書で、気候・環境面について、子どもは地球規模の危機に対して特に脆弱であり、

リスクが高まると書かれています。同白書では、2050年代には、異常気象による災害にさらされる子どもの数が、2000年代と比較して大幅に増加すると予測されています。具体的な予測数値は以下の通りです。

- 極度の熱波…最大8倍
- 極度の河川洪水…3.1倍
- 極度の山火事…1.7倍
- 極度の干ばつ…1.3倍
- 極度の熱帯低気圧…1.2倍

気候・環境問題がこれから改善されていくという見込みはなく、むしろひどくなっています。夏場、6月から10月くらいまで外に出られないという状況は、子どもの健

康な育ちの面から見れば、大変な阻害要因です。子どもたちの「育ちの権利」が気候・環境問題によって阻害されてしまう、大変な局面を迎えていると思います。

園庭は木々が日陰をつくる、自然の庭へ

園庭に冷房を効かせることはできません。短期的には、テントを張ってその中で遊んだり、大型扇風機やミストを使ったりといった対策も必要ですが、中長期的には、「日陰をつくる」しかないとは考えています。それも建物の影ではなく、木が生い茂って葉が広がり、夏に良い木陰ができる環境で





子どもと  
日常の保育の  
見方が変わる

# 事例から学ぶ インクルーシブな保育

近年、インクルーシブ保育の取り組みについて国からの後押しが活発になっています。そこで、本連載では発達障害のある子どもの保育について、特別な方法ではなく、普段の保育の中で小さなことから変えていく「インクルーシブな保育」の考え方、実践について、事例を通して提案します。

第④回

## 保育者自身で できることを探る



監修・執筆 若月芳浩  
(玉川大学、四季の森幼稚園)

イラスト/近藤えり



【テーマ予定】

- 5月号 保育者自身で  
できることを探る
- 9月号 振り返りによって  
見通しを立てる
- 1月号 育ちを接続するために  
必要なこと



## インクルーシブな 保育のために

# 自分自身やクラスを俯瞰する目をもつ

### 入園間もない時期は 保育者の悩みも尽きない

入園から間もない時期は保育者にとって緊張の連続です。悩みの多くは独特な行動が理解できない、座ってられない、生活に対しての意識が低く、習慣が身に付いていないなど、子どもの対応に苦慮する内容となっております。

また、人間関係についての経験が浅いため、ほかの子どもとのコミュニケーションの難しさだけでなく、自身の要求が強いことが原因でトラブルが多くな

ります。

このような状況では、園は対応に苦慮し、担任の負担感が増加の一途をたどってしまい、悩みが尽きません。では、日々起こる混沌とした状況を何とか抜け出して、安定した園生活を過ごすためには何を大切にする必要がありますのでしょうか。

### 行動の変容は二の次

困った行為や行動が目につくと、その行動を否定的に見てしまうのは当然だと思えます。しかし、園に入ったばかりの乳幼児にとって、親との分離、新しい環境、慣れない周囲の乳幼児の存在、保育者とはいえかわったことのない相手など、心が不安定になる要素が多くあります。そのような状況を克服するために必要な要素は「安心感」です。信頼の薄い大人から、子どもにとって理解できない指示や要求が多くなるこ

とは、安心感の成立にはほど遠いものです。どうすれば子どもたちを受け入れることが可能となり、安心感がつくられるかを考える必要があります。そのためには今、目の前にいる子どもの姿を受け入れることが大切です。そのような状況の中で一つ意識したいことは、気になる行動を変容させたいという気持ちをできるだけ抑えることです。

もちろん、ケガやトラブルが目の前で起きている場面を傍観することはできません。入園間もなくは保育者にとっては「なっかってほしい姿」のイメージが強くあります。しかし、焦っている自身の感情に気付き、クラス全体を俯瞰する時間を増やし、自身が子どもに対して何が可能かを探ることが出発点になるのです。気になる行動を変えようとする意識を軽減させることで安心感が生まれるのではないのでしょうか。

T君が見ていたのは、保育室の天井にあるシーリングファンが回っている様子でした。



## エピソード①

# 子どもの視線から心が見えた

### 動きが激しいT君に 担任は不安な日々

診断名が付いていないT君は、3年保育で入園してきました。当初から動きが激しく、保育室にいられない状況が続き、担任のA先生は「自分だけでは対応できない」と日々焦る気持ちが高まり、不安な状況が続いていました。

そんな状況が続く4月の下旬頃に、A先生はT君の動きが止まる場面に見付くことが多くなりました。その時にA先生がT君の視線の先を見ると、保育室の天井にあるシーリングファンが回っているのを穏やかな表情で見ていることに気付いたのです。A先生にとって、言葉が少ないT君の要求や要望は理解することが難しかったのですが、T君の様子を見て

いた時に「目は口ほどに物を言ふ」ということわざを思い出したのです。確かにT君は回る物を見ていると表情が穏やかになり、激しく動き回る場面が減っていました。

### T君の様子から 思い付いた「風車」

そんな時に、手に持って遊ぶことができる、紙を使った「風車」をA先生は思い付き、クラスの製作コーナーで試して作ってみることにしました。T君は製作している時は興味を示さなかったのですが、風車が回る様子を見た時に、T君の視線はきれいに回る風車に釘付けになったのです。

そこでA先生は作った風車をT君に渡してみました。T君は風車が回る様子を見ながら、手に持った風車



A先生が思い付いたのは、手に持って遊ぶことができる、紙を使った「風車」。

が回るように自分自身の身体を回転させて、何度も同じ動きをくり返していました。

周囲の子どもたちの中にも「私も欲しい、作りたい」との要求が多くあったので、しばらくの間、製作が可能な環境を整えて、製作コーナーで子どもにも作るができるように準備を整えました。T君は風車がとっても気に入った様子で、家に持

って帰りました。翌朝手に風車を持って登園してきたT君は、何度も回る風車で遊んだり、ほかの子どもが作った風車をうれしそうに見たりと、目に見えて穏やかな姿が増えていきました。

### 視線から子どもの心を理解する

こうしたT君の変化を通して、A先生は子どもの理解が難しい状況になった時に、子どもの視線を追うことが心の理解へとつながることを実感したのでした。そして、乳幼児の理解と環境構成の大切さを痛感し、興味や関心を活かした遊びの大切さが穏やかな園生活につながることを具体的に知ることができました。

また、遊びが充実する環境を丁寧につくり、子どもが「やりたい」と思った時にすぐに対応することが可能になる環境構成を意識することの大切さを実感したのです。製作コーナーは以前から保育室内にあったのですが、子どもの興味や関心をあまり意識していなかったこともあり、

継続した遊びになることがありませんでした。

このような経験から、遊びが続く環境構成のあり方と、素材の重要性を認識して、教材室に取りに行くことなく、遊びが展開できる場の大切さを認識しました。

A先生はT君の姿と保育室の環境構成を写真で記録し、園内の写真を活用するアプリにアップすることで、遊びが広がっている姿とともに、A先生が子どもの視線から気付いた子どもの心の理解について園内で共有することが可能になりました。

### — 実践のヒント —

保育の見直しは、事前の取り組みに対する見直しと、当日などは臨機応変な対応が必要となります。そのためには保育者の柔軟な姿勢が問われるのです。一様な対応ではなく、多様な対応の幅を広げることで、様々なタイプの子どもの対応が可能となっていきます。

## 「ねばならぬ」から抜け出してみた

S先生を避けるようになったK君



S先生はとても真面目な性格で、子どもに対して大変丁寧な3年目の先生です。クラスの数々の意識が低く、所持品の始末や給食の支度や片付けを全くやるうとしない姿に日々焦燥感をもっていました。そんな状況のなか、K君は特に生活に対する

課題が多くあるなかで、朝の支度を全くやらないまま遊んでいる姿がとても気になっていました。S先生はK君が登園してくると、遊び出す前に支度を終わらせるために、K君に張り付いた状況で次々と指示を出して、K君の行動がほかのことに向かないように強く意識していました。

しかし、数日続いて朝の支度を行っていたK君は、登園してきた時にS先生が近付いていくと、それを避けるようにS先生から走って逃げってしまうようになりました。

S先生の悩みは強くなりました。そんな悩みを主任の先生に相談してみたところ、『ねばならぬ』はとても大切だけど、そのことだけから子どもに対応すると信頼関係の形成が難しくなるかも」とアドバイスをもらいました。S先生は、自分が生活

のルールに対して強い要求をもっていることに気がきました。

その後、S先生は、子どもが今どのような気持ちでいるのか、まずは考えることを意識してかわるようになり、K君がS先生を避けることもなくなっていました。

## — 実践のヒント —

悩みを他者に語ることは自身の今の心情に気付くことにつながります。今、子どもにかかわっている方向性が正しいのか否かについて、焦る状況では判断が難しくなります。そんな時こそ自分で抱え込むことはやめて、心を開いてほかの保育者と対話することで新たな方向性が見えてくることがあります。穏やかな心情がカギです。

## 今月のお題

---

# 1人で抱え込まない体制と安心感

保育者の安心感は、新年度ではとても重要な要因になります。しかし、責任感の強い保育者は、自分で全部やらないといけないという意識が強く、抱え込んでしまうことが多くあります。そのような状況では時に強いストレスと不安が生み出されます。園としてそのような状況が起きないように体制を可能な限り調整しましょう。

## 見直しの視点

---

### 「ねばならぬ」を再確認

入園当初に「～しなければならない」ことが多くあると子どもの心の余裕が失われ、結果として落ち着かない状況が長引く可能性があります。本当にしなければならないことを検討したうえで優先順位を定めて常に見直しを心がけましょう。

### 情報共有の手立て

園内の情報を共有するために必要な手立てを確認しましょう。情報が届いていないと、不安だけでなく、子どもの安全にも影響する可能性があります。アプリやホワイトボードなどを活用し、できるだけ情報の見える化を心がけましょう。

### 不安を聞いてくれる人の存在

焦りや悩みは常にあります。その解消のためには聞いてくれる人の存在がとても重要になります。同僚や主任、副園長や園長は常に保育者の心情を敏感に感じ取る必要があります。

### 子どもが安心できる環境構成

入園当初の子どもは自分の要求を表現することが難しい状況があります。遊びの状況を読み取りながら環境の再構成を心がけてみましょう。物とのつながりを大切にしたら環境は、子どもの興味・関心と呼び覚まし、安心感につながります。

※チェックシートは『保育ナビ』公式サイトからもダウンロードできます。

## 『保育ナビ』編集部からの お知らせ

### 公式サイトやSNSで保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイトやSNSでも様々な情報を配信しています。  
より早く、より詳しい情報のためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト



YouTube



Facebook



Instagram



### 「保育ナビ倶楽部」の会員になりませんか?

メールマガジンで保育に役立つコラムや『保育ナビ』情報など、  
毎回、様々な情報をお届け! どなたでもご利用いただけます。  
(要登録、無料)

登録は  
こちら



# 保育ナビ

フレーベル館セミナー事務局からのお知らせ

# フレーベル館 保育セミナー

4・5月開催 LIVE セミナーのご案内

(各セミナー開催日の翌日より1か月間の見逃し配信つき)



2026年度  
セミナーの  
パンフレットも!

※ HP よりダウンロードしていただけます  
(このページの下部の二次元コードを  
読み込むか、「フレーベル館 セミナー」で  
検索してください)

## マネジメント

### 新たな保育制度 こども誰でも通園制度で何が変わるか?

LIVE 開催日時: 4月16日(木) 13:15 ~ 14:30  
受講料(税込): 個人申込(おひとり様) 4,400円  
施設申込(1施設様) 22,000円

●講師 秋田喜代美 先生  
(学習院大学教授)



## マネジメント

### あなたの園は大丈夫? みんなでやさしい、個人情報の基本

LIVE 開催日時: 5月13日(水) 13:15 ~ 14:30  
受講料(税込): 個人申込(おひとり様) 4,400円  
施設申込(1施設様) 22,000円

●講師 木元有香 先生  
(弁護士、保育教諭)



## マネジメント

### ミドルリーダー・ステップアップ研修 全4回でミドルリーダーの役割と 必要な知識について学びましょう

LIVE 開催日時:  
第1回 5月15日(金) 13:15 ~ 14:30  
第2回 6月5日(金) 13:15 ~ 14:30  
第3回 6月19日(金) 13:15 ~ 14:30  
第4回 7月10日(金) 13:15 ~ 14:30  
受講料(税込): 個人申込(おひとり様) 4,400円  
施設申込(1施設様) 22,000円

お得な価格の全4回セットもございます!  
●講師 師岡章 先生  
(白梅学園大学教授)



## マネジメント

### 人権をベースとした保育と「施設虐待」の予防 ~ 2025年のガイドライン・児童福祉法の改正をうけて~ 全4回の研修で普段の保育を見直しませんか?

LIVE 開催日時:  
第1回 5月20日(水) 13:15 ~ 14:25  
第2回 5月27日(水) 13:15 ~ 14:25  
第3回 6月10日(水) 13:15 ~ 14:25  
第4回 6月24日(水) 13:15 ~ 14:25  
受講料(税込): 個人申込(おひとり様) 4,400円  
施設申込(1施設様) 22,000円

お得な価格の全4回セットもございます!  
●講師 小崎恭弘 先生  
(大阪教育大学教授)



2026年度もお得なパック・プランをご用意しております!

## LIVE

**年間セミナーパック** 年間パック対象のLIVEセミナーをすべてご受講いただけます!

## オンデマンド

**年間プラン** オンデマンドセミナー 100タイトルが2027年3月31日までご受講いただけます!  
(前半期・後半期の半年プランもございます)

**おすすめ15時間プラン** セミナー事務局厳選! 15時間分のセミナーをご受講いただけます!

**マネジメント研修 15時間プラン** 「中核リーダー」におすすめ!

## その他、2026年度のLIVEセミナーとオンデマンドセミナーの 詳細やお申し込みはコチラから!



※フレーベル館は幼稚園・認定こども園様について、処遇改善等加算に係る研修の実施主体認定を全国で受けております。ご案内しているすべてのセミナーが対象です(2026年1月時点)。

※配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性がございます。最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。(二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館セミナー」で検索してください)

※保育士等キャリアアップ研修については、「一般社団法人フレーベル子育てラボ」にて「株式会社フレーベル館」の研修システムを使用した研修を開始しております。詳細につきましては、右記の二次元コードからアクセスしてください。



【問い合わせ先】株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール: seminar@froebel-kan.co.jp 電話: 03-5395-6637